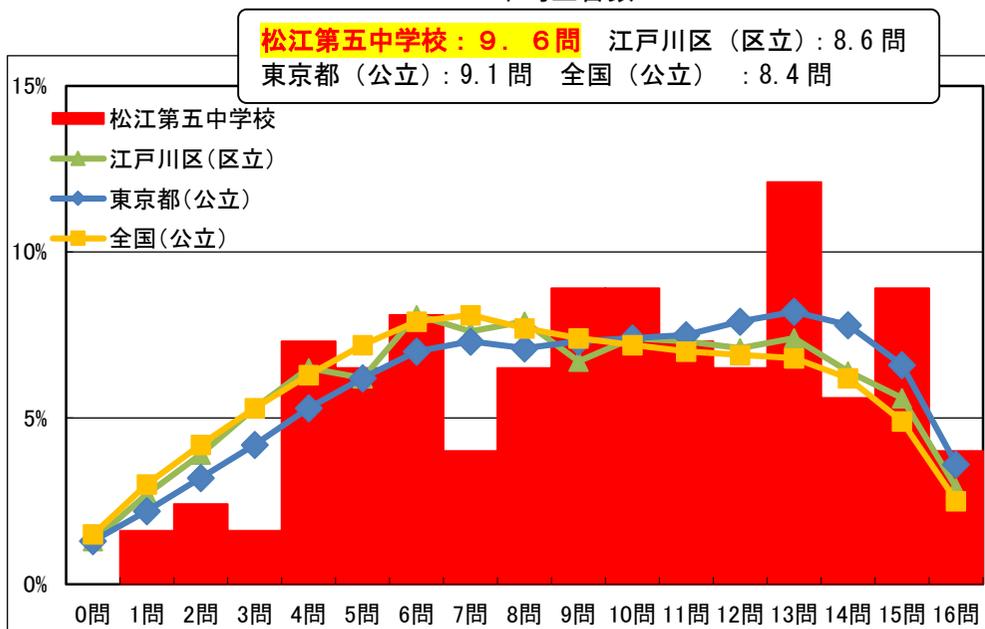


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 松江第五中学校

正答数分布

平均正答数

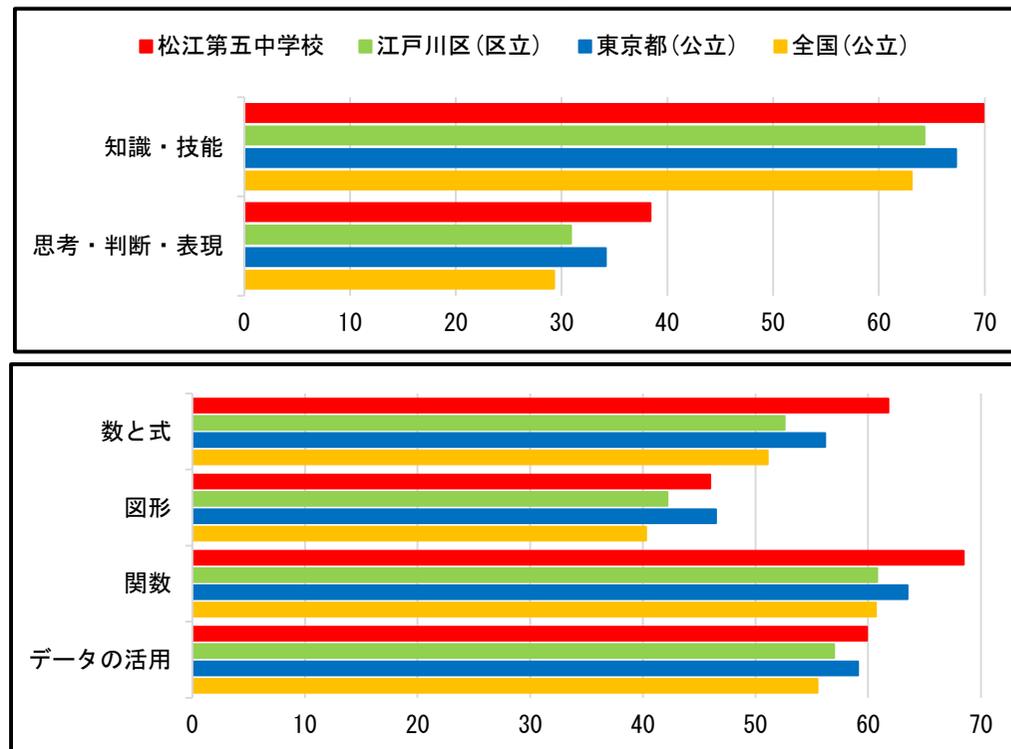


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16問	B層 9~12問	C層 6~8問	D層 0~5問
松江第五中学校	30.6	31.6	18.6	19.4
江戸川区 (区立)	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都 (公立)	26.2	30.1	21.4	22.3
全国 (公立)	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

松江第五中学校	60%
江戸川区 (区立)	54%
東京都 (公立)	57%
全国 (公立)	52.5%
都との差	7.5ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

本校の平均正答率は、東京都・全国の結果より高い数値が出ている。習熟度別のクラス編成を行い、知識・技能を定着させる取り組みに、成果があったと考えられる。一方で、東京都や全国の傾向と同様に、「思考・判断・表現」の観点の平均正答率が低いことに、引き続き課題がある。生徒が主体的に学習に取り組めるよう、習得した知識・技能を活用させる学習活動の充実を図る。